

## 1. 調査実施の目的

水道・下水道について市民の皆様のご意見やニーズ等を把握し、今後の事業運営のサービスの向上に反映させていただくため、「川崎市上下水道局市民意識調査」を実施した。

## 2. 調査方法と回収状況

調査対象：水道・下水道を使用されている市民3,000人を無作為抽出

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：平成22年7月16日（金）～8月2日（月）

<回収状況>

発送数	回収数	回収率
3,000件	1,321件	44.0%

## 3. 調査項目

1. 基本属性
2. 水道水に対する意識について
3. ご家庭の水道水の利用状況について
4. 災害時の飲料水の確保について
5. 水道の使用量について
6. 下水道について
7. 水道料金・下水道使用料について
8. 水道・下水道の広報について
9. 水道・下水道に対する満足度について
10. 今後の水道・下水道について
11. 水道・下水道の組織統合について
12. 自由回答

## 4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

## 5. 標本誤差

この調査は、全数調査（全ての人を調査）ではないので、調査結果の数値は、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）と一致しない可能性がある（これを標本誤差という）。

標本誤差は、単純無作為抽出の場合、経験的に95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値は標本調査で得られた結果にこの標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1}} \times \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}} \quad (\text{ただし、} \frac{N-n}{N-1} = 1 \text{ とする})$$

N : 母集団数  
n : 回答者  
p : 回答比率

例えば、n=1,321であり、ある設問の『はい』という回答率が20%である場合、標本誤差は

$$2 \times \sqrt{\frac{0.2 \times 0.8}{1321}} \doteq 0.022$$

となり、真の値は20%を中心に±2.2%の範囲内に、つまり、17.8%~22.2%の間に入ることとなる。

同様に計算した標本誤差の早見表を以下に示す。

回答比率 (p) 基数 (n)	10% または 90%前後	20% または 80%前後	30% または 70%前後	40% または 60%前後	50%前後
1,321	±1.65%	±2.20%	±2.52%	±2.70%	±2.75%
1,000	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
700	±2.27%	±3.02%	±3.46%	±3.70%	±3.78%
500	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
300	±3.46%	±4.62%	±5.29%	±5.66%	±5.77%
100	±6.00%	±8.00%	±9.17%	±9.80%	±10.00%